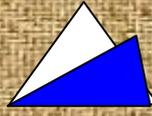


会報

日本勤労者山岳連盟（富山県連盟）
新日本スポーツ連盟

三島野スポーツクラブ



No. 164

2014年5月1日
代表 岩井 富雄
射水市宝町 1364-35
TEL・FAX 57-8180



小矢部川と二上山 小木 清 画

5月・6月の企画案内

- *5/3(土・祝) 富士写ヶ岳
- *5/6(月・祝)
筍掘り&ウォーク&山菜宴
- *5/18(日) 取立山
自主企画 5/11 京ヶ倉

- 6/1(日) クリーンハイク 高落葉山
- 6/21(土) ~22(日)
登山口キャンプ&雨飾山

6/29(日) 三島野 SC 登山セミナー

山行報告 角田山 4/6

カタクリの大群落と
雪割草と白い灯台と

お花見ハイク小丸山公園 4/13

満開の桜と
七尾の古刹訪問

清流・梓川と河童橋と
白い穂高連峰

早春の上高地散策 4/15

連載 GPS と登山 林 憲彦

関連投稿 賀久博幸

カンジキ登山初挑戦の記 甲かほる

5月企画の案内

5/3(土・祝)

富士写ヶ岳

941m 石川県加賀市山中温泉

【集合・出発】5時00分 薬勝寺P

【行程】

登山口7:00 富士写ヶ岳9:30 前山10:00 登山口着12:30

標高差:約750m 体力度★★☆☆☆ 技術度★☆☆☆☆ (L) 背渡健治

【参加申込】4月26日で締め切りました

5/6(火・祝) 筍掘り&ウォーク&山菜グルメ

【集合・出発】8時30分 小杉駅南口

【日程】

- * 小杉駅南口より黒河まで約6キロをウォーキング
- * 竹林で筍掘り
- * 旬の竹の子と持ち寄った山菜を賞味しながら昼食

【参加申込】4月30日まで 岩井 FAX 57-8180

【参加費】実費です。昼食と嗜好品は各自持参。

お酒を飲む方は車の運転厳禁!

ウォーキングせずに黒河の野開宅へ直行される方は10時00分頃に集合してください。



竹林でタケノコを掘る参加者(2012年)

自慢の山菜料理の持ち込み大歓迎です(自慢でないものも可)。楽しい交流の場にひと味加われば盛り上がります。

5/18(日) 取立山

1307m 福井県勝山市/石川県白山市

【集合・出発】5時30分 薬勝寺P

【行程】

北陸自動車道・丸岡IC → R147 経由 →

登山口7:30~45 → 大滝8:15~30 →

こつぶり山(1264m)9:30~45 → 取立山(1307m)

11:00~11:45 → 登山口13:00

勝山♨「水芭蕉」で入浴し、帰路へ

薬勝寺P16:30 帰着予定

累計標高差 約450m

技術度・体力度とも★☆☆☆☆

【参加申込】5月11日まで岩井 FAX 57-8180

取立平には3000株の水芭蕉が群生しており、その眺めは見事です。山頂からは雪を抱く白山の展望が素晴らしい。



自主企画案内 堀井企画

5/11(日) 京ヶ倉・大城山

長野県生坂村

990m

980m

地元から…

わが村は、ダム湖のある南北 12 キロの犀川を挟んだ自然豊かな村です。急峻な岩場は岩登り気分。ヒカゲツツジに感動しつつ頂上へ。そこはアルプス様の山道。会員一同、お出でいただく登山者の皆さまが、良い思い出を持ってお帰りいただけるよう、安心・安全を合言葉に登山道整備に精を出しております。

(生坂村・大城 京ヶ倉を広く世に出す会
会長 平林 雅雄さん)

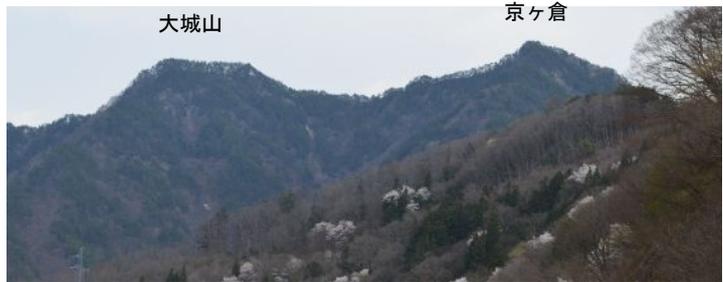
【集合・出発】6時00分 薬勝寺P

【行程】

北陸自動車道・R-147 経由 → こや城登山口 9:00~9:30
→ 京ヶ倉山頂 11:00~30 → 大城(919m)12:00 →
→ 眠り峠 13:00 → 眠り峠登山口 13:10 → 登山口に戻る

標高差 約 500m 技術度・体力度 ★★☆☆☆

【参加申込】5月5日まで堀井泰則へ FAX25-2792



6月企画案内

6/1(日)

全国労山いっせいクリーンハイク

高落葉山

南砺市(旧城端町/平村)

1122m

【集合・出発】7時30分 薬勝寺P

【行程】

北陸自動車道・北陸東海自動車道経由 福光IC →
R-304 から林道高清水線 → 登山口 9:00 →
唐木峠 9:30 → 高落葉山 11:00(昼食) 12:00 →
草沼山 13:00 → 縄ヶ池 13:40~50 → つくばね森林公園 14:20 → 夫婦滝 14:40 → 登山口 15:00
井口・ゆ〜ゆうランド花椿で参入浴後帰路へ 17:00 着

累計標高差 約 870m

体力度★★★☆☆ 技術度★☆☆☆☆

【参加申込】5月25日まで岩井 FAX 57-8180



ブナ林の新緑と縄ヶ池の水芭蕉が見ごろ…そして、山菜も芽吹き始めているかも。高落葉山の山頂からは砺波平野の散居村が一望できます。そんな楽しい山歩きをしながら、登山道脇に目を凝らし落ちているゴミを一掃しましょう

6/21(土)~22(日) 雨飾山 1,996m 登山道にはまだ雪が残る春から夏への人気の山に挑みます

登山口のキャンプ場で前泊し、テント泊生活の体験と交流のときを！

【集合・出発】13時00分 薬勝寺P

【行程】

21日 15時登山口キャンプ場着

テント設営と夕食準備

22日 雨飾山登山 登り4時間 下り3時間

体力度★★★★☆☆ 技術度★★★★☆☆

【参加申込】6月15日まで岩井 FAX 57-8180

詳細な企画予定は次号の会報で案内します。

前泊なしで登山のみの参加も可です。



湯峠から仰ぐ雨飾山

三島野スポーツクラブ

登山セミナーを開催します

憧れの峰に立ち、その展望に感激し、がんばってがんばって登りきった達成感に酔いしれる。そしてまた、次への意欲となり、明日を生きる力とする。

夏山の登山シーズンに向けて会員の技術・体力・意欲などのワンランクアップをめざすための企画です。

多くの会員の参加で成功させましょう。

日時 6月28日(土)から29日(日)

1泊2日 (一日のみの参加も可)

場所 立山青少年自然の家

参加費は5,000円くらいを予定しています

〈プログラム〉

1日目 午前 “加齢に伴う体力と意欲の低下に抗して・アンチエイジング”

お話 古川三郎

「登山中のケガや病気などの救急対応に着いて」 講師 立山町消防署

午後 「読図学習」 来拝山に登りながら行います

夕食後は交流会です。それぞれの山の想いや体験、自慢話、失敗談などを語り合しましょう。

2日目 登山 大辻山(白岩川ルート) 初級の沢歩き

山行報告

4/6 (日) 角田山 481.7m 新潟市



メンバー：〈L〉 的場邦夫、岩井富雄、林 憲彦、
福島忠義、堀井泰則、峯 周二
甲かほる、瓶田真寿美、島倉津也子、
藤井洋子、高井増美（会員外）

【行程】

薬勝寺 P 5 : 30 → 角田浜 P 8 : 30 →
桜尾根登山口 8 : 45 → 途中 2 回の休憩 →
角田山山頂 10 : 40 → 向陽鐘広場で昼食 1 : 45 ~
11 : 25 → 分岐 灯台コースへ 11 : 45 →
13 : 15 角田岬灯台 → 海岸へ下山 13 : 25
帰路出発 13 : 45 岩室温泉健康センターで入浴
薬勝寺 P 18 : 20 帰着



ひとくち感想

福 島：足元見れば、花・花・花…花が一面に咲いていて驚きました。雪割草やカタクリの花。角田山の春山歩きは日頃の疲れを癒してくれました。下山路灯台コースの0メートルへの岩稜の下りは風を受けちょっぴり難儀だったが、期待どおりの絶景に満足気分の日でした。ありがとう！

瓶 田：寒気が降りてきて雨か雪を覚悟していましたが、雨具をつけることもなく快適な登山でした。雪割草やカタクリが咲き乱れていたり、春の海に映える白い灯台に向かって下ったり（前を歩くグループが下っていく様は映画のワンシーンみたいでした）といろんな要素がコンパクトに詰まっていた楽しい登山でした。福島や栃木からバスを仕立ててきているのにビックリでした。

堀 井：悪天候も予想され去年の「二の舞」覚悟が、どっこい一転して好天気になって花の角田山を楽しむことができました。波打ち際まで下るルートは大変良かった。

峯：花に興味もなかったオレも、山行を重ね自然の景観に触れることで今回花の名前も少し覚えました。カタクリの花の群生、雪割草、ショウジョバカマなどの可憐な花を見て心が和みました。

甲 か：雪割草、カタクリ、一輪草、ショウジョバカマなどの花がみごとでした。今年再チャレンジして本当によかった。ありがとうございました。

藤 井：入会して初めて角田山に参加し、「20歳若返った」気にさせてくれました。かたかご・雪割草の花がいっぱい。特に“白いかたかごの花”に初めて出会い感激。みんなの足手まといにならないよう…仲間の友情で麓に着いた時はホッとしたというのが本音です。海辺の景色もとても良かった。ありがとう！

島 倉：青い海と多くの花々そして仲間と…。今年初めての山行はとても楽しかったです。

林：数年ぶりの角田山でした。ユキワリソウ・カタクリ・イチリンソウなどの沢山の花に迎えられて楽しく歩くことができました。スポーツ連盟は『いつでも・どこでも・だれもがスポーツを』をスローガンに掲げてきましたが、これに『いつまでも』が加えられたのを心強く思っています。いつまでも元気にスポーツを楽しみましょう。

岩 井：気温が少し低かったせいかカタクリの花が完全に開いていなかったのが残念。満開状態になれば斜面が紫色に染まったのに…。

的 場：良い天気よかったです。Lを無事務められたことに皆に感謝です。

高 井：今回初めての参加で不安がありましたが大変良かったです。春のトレーニングとして、身体に優しく、かつ、心身とも山登りに目覚めました。“今年も目的を持って秋まで山を楽しむぞー”

楽しかった角田山 新会員の感想

藤井 洋子

山歩きしたいと思いながら、時間が過ぎました。友人から三島野スポーツクラブのことを聞き、すぐに入会申し込みをしたものの送られてくる会報を読むにつれ「ハードルが高いなあ」と尻込みしたのが本音でした。

角田山は『体力度・技術度とも★1つ』でしたので体験的に参加することにしました。

その日は寒気を伴う気圧の谷がの影響でくすついた空模様のもと出発。途中で雨が降ったりして不安がよぎる。柏崎を過ぎるあたりから空が明るくなりはじめ、目的地の角田岬に着いた時には青空がのぞいて“ヤッター” 雨具を着ないで行ける！

この日は角田山の山開きとあって「熟女」たちがワンサと列つくって歩いていて、私くらいの方々も多くチョット安心しつつ自信も…。

登り始めて、隊列を作って登る三島野のメンバーの頼もしい姿にホレホレ…。登山口から桜尾根をたどるとすぐにショウジョバカマ・イカリソウ・スミレが咲いていた。きつかったのですが最初の休憩でリーダーの「温度調整をしてください」のアドバイスで一枚上着を脱いだら楽になりました。雪割草（ミスミソウ）の白色や淡紫色の花、ウグイスの鳴き声に元気をもらいながら一歩一歩登りました。

本命のカタクリの大群落に登山道の両斜面に広がっていて感激！去年は雪に見舞われて見られなかったとのこと。“私はなんと強運の持ち主”と秘かに思ってしまった。そして、珍種ともいえる白いカタクリの花を見つけてビックリ。

山頂標識を少し過ぎた見晴らしの好いところで昼食タイム。おにぎり二個を頬張って下山へ。下山路は日本海の白い灯台をめざす下り坂。途中のカタクリの大群落が素晴らしい。花は日当たりが良いためか大きく、カメラを構える人は地べたに這って咲く花を撮る。その様はカメラと縁のない私にはおもしろい。

七色に輝く海と長い海岸線に打ち寄せる白波…その贅沢な景観を見ながらの下山路を楽しみながら日本海の荒波を受ける白い灯台に着いた。

岩室温泉で疲れを癒し、帰路へ。

仲間の方々のおかげで楽しい楽しい1日でした。ありがとうございました。これからは都合がつけばできるだけ参加したいとおもっています。その時はよろしく願いいたします。



寄稿

コンパスと GPS

賀久 博幸

近年コンパスを使えることを前提に、私は GPS を主体としコンパスを補助としている。なぜなら、残雪期で視界が不良の時、白谷山方面より主稜線を焼岳に向けて進んでいるとき最終コルに下ろうとして地形図とコンパスと高度計でコル方向を確認したら、コル方向が今歩いてきた方向を示した。（多分、火山の山の影響で地場が狂った為ではないか？）そのために進めず撤退した苦い思い出がある。

また、地形図、コンパス、高度計では天候の変化によって、気圧が変わり、正確な高度がわからなくなる。悪天候の中でそれを補正したり、地形図やコンパスで正確に進む方向を確認するのは大変な作業である。例えば、「山と溪谷」4月号に載っていた《1週間でマスター・読図トレーニング》の七姫山～大辻山を5・6年前と今年の山行を比較すると5・6年前は視界不良時 GPS が無く、コンパスを頼りに七姫山より大辻山方面に主稜線を100m下のコル目指したが130mも下ってもコルに出ず、七姫山に戻ってコンパスで正確に方向を確認すると少し左方向に主稜線があり、先に下ったのは枝尾根であった。その後はピークからの下りは慎重にコンパスを使いながら下山した思い出がある。

今年は天候も良く、GPS が有るため気持ちの上で余裕を持って歩けた。また、最近の GPS は電池の寿命も長くなり、トラッキング機能（正面が進行方向）も付いている機種も出ている。それをを用いると谷筋や樹林帯でも電波が途絶えることがあまりない。しかし、電池の予備は必携である。

コンパスで進行方向を調べる時は現在地がわからないとダメであり、道迷い遭難の危険性がある。視界が良好な時はなるべく周囲の目印になる山や鉄塔などを見ながら歩くことを心がけている。

小丸山公園と七尾の名所旧跡めぐり

メンバー：L・荒井英治、小坪哲彦、背渡健治、的場邦夫、峯周二、上田千秋、瓶田真寿美、神田恵美子

〔行程〕

薬勝寺 P 8 : 00 ～ 山の寺寺院群見学 9 : 55～10 : 45 ～ 小丸山公園 40 : 45～12 : 45 ～
七尾城跡 13 : 00～14 : 05 ～ 薬勝寺 P 15 : 55

ひとくち感想

荒井：天気恵まれてよかった。桜も満開。七尾城跡と小丸山城跡（山城と平城）の対比が戦国時代の経過の変化を感じさせた。4/26 から七尾美術館で長谷川等伯展が開催されるのでもう一度来ようと思う。

瓶田：この時期は日本に生まれて本当によかったと思える季節です。桜が大好きな私はとても欲張りで、あちらこちらの桜を見ても飽きることがありません。美しい桜の下で花見をしながらの山談義。とても楽しかった。

上田：小丸山公園の桜の下での宴は話にも花が咲き愉しかった。8人乗り「三島野スポーツ号」は快適で道中の車中から見る桜もきれいでした。とても良い花見になりました。

小坪哲：Lの事前調査とコースを熟知した青年部長（だあれ？でも知る人は知る！）のおかげで寺院群や小丸山公園はもとより、氷見から能登へと至る高速道路網の紹介やら氷見高校近隣の桜の名所を案内してもらえて“仲間がいてならでは…”の体験ができ、また喜び一入（ひとしお）です。久しぶりに参加してくれた仲間と会え、今後の山行を語り合えたことが何よりの一日でした。

峯：天候&体感温度も最高にルンルン！前田利家のゆかりの数多くの山寺巡りで、心が清められ安らぎをもらいました。小丸山公園で満開の桜の下で和気藹々の会話をしながらの宴は気分がルンルン！一日「春うらら」の愉しさを満喫しました。

的場：公園の桜、車中から見る桜、寺院の桜、七尾城跡の桜が全て満開！天気も快晴。大変楽しい花見でした。

背渡：知らなかった七尾の歴史。変わっていく社会情勢。的場名ガイドの説明で勉強になりました。



お花見ハイク雑感

神田恵美子

利家が北からの守りとして建立した山の寺院群のうち10ヶ寺ほど巡ってきました。高山右近ゆかりの寺や樹齢700年の神木のある寺などさまざまでした。どれもよく分からないけどありがたい御利益がありそうだと、お賽銭も入れずに真剣に拝み、欲やらPM2.5やらで汚れきった心身の垢をほんの少しだけ落としてきました。

それぞれの寺院を結ぶ距離も短く、遊歩道も整備されており、もっと上手にPRすれば観光客も沢山来て地元も潤うのに…と。赤い袈裟で微笑むお地藏さんに手を合わせ、山門の両側に立つ仁王様に睨まれつつも頭に浮かぶのは俗な思い付きばかり。お昼は小丸山公園の一角で満開の桜に酔いしれながらミニ宴会。空は青空。ほんわり温かくて風もなし。“あーし・あ・わ・せ、満足”これぞ「ザ・お花見」を満喫してきました。その後立ち寄った小丸山城址も適度な高度さがあり、とてもよいハイキングコースでした。「三島野スポーツクラブ号」1台で行けたお陰で参加費も予定の約半分ですみました。ありがとうございました。



メンバー：L岩井富雄、小坪哲彦、林憲彦、峯周二、福島忠義、甲厚子、甲かほる、藪本（会員外）

ひとくち感想

- 小坪哲：真っ赤な日の出とともに上高地へと車を走らせ、帰路はまた真っ赤な夕日に迎えられて家路へと急いだ。そんな一日でした。上高地は終日一点の雲さえない快晴で、雪をいただく穂高の峰々が輝き、平日ゆえに訪れる人影もなく上高地のすべてが独り占めできたようで最高の散策となりました。また、帰路で採ったフキノトウのお土産もでき、そして大自然の中の中の湯温泉でくつろいだ至福の一日でした。L素晴らしい一日をありがとう。
- 峯：全てに最高でした。天候、澄み切った梓川、新鮮な空気、北ア・穂高連峰のすばらしい景色。3月の西穂独標登山を思い出しました。河童橋での昼食も気分よく食べました。帰路に立ち寄った中の湯温泉に浸かり、癒しが全身に広がりました。
- 福島：魅力的な上高地。陽光を浴びながら残雪の中の散策は最高でした。美しく輝く湖面の大正池。そして、明神岳から西穂高岳にかけての雪に覆われた岩稜は、雲ひとつない青空に映えて見事な光景でした。
- 林：新緑や紅葉の時期の喧騒とうって変わって、静寂そのものの上高地を満喫しました。中の湯温泉の湯船から眺めた穂高の峰々は、まるで額縁の絵画を眺めているようで、湯でのぼせるのを忘れて見入っていました。毎年行きたいコースです。
- 岩井：一日中雲ひとつない天気となり、楽しいハイキングとなりました。ホテルや旅館の営業準備や道路工事で車が意外に多かったのでサルが一匹もいなかった。
- 甲厚：素晴らしい天気にも恵まれました。雪の焼岳、独標、西穂高、奥穂高、吊尾根…大パノラマに感動しました。
- 甲か：真っ青の空の下、春山2回目の山行でした。西穂独標からの穂高連峰の峰々をずっと眺めて素晴らしかった。ありがとうございました。
- 藪本：初めて参加させていただきました。天気にも恵まれ、上高地のすばらしい景色を眺めながら気持ちよく歩くことができました。はじめての参加ということもあり、皆さんの足を引っ張ったかと思いますが、嫌な顔一つせず温かく接して下さったことに感謝します。

残雪の上高地を楽しむ

福島 忠義

今日の上高地散策は晴れるだろうと思いながら集合場所の葉勝寺へと急ぐ。予定時間の5時30分に出発。途中朝食を兼ねて休憩し、上高地の入口釜トンネルへと向かった。8時20分準備を整え、釜トンネルに入った。暗闇のトンネルをヘッドランプで照らし、上り勾配のトンネルは結構しんどい。時折工事用車両がエンジンを響かせて通り過ぎていく。1310mを黙々と歩くこと約30分、長い時間に感じたがようやく出口の光が見えてくる。トンネル抜けるとそこは“雲ひとつない快晴”だった。春のおだやかな陽光を浴びながらテクテクと歩くのが快適だ。周囲の景観を楽しみながら進んでいくと湖面が美しく魅力的な大正池が目前に広がってきた。左手に噴煙を上げる焼岳が大きくそびえ、右手には雪をかぶった穂高連峰が眺望でき、その連なりが湖面に映る。さらに林の中に通じる遊歩道を進んでいくと開けた湿原に出た。右に行くと田代池らしい。春や夏には岩魚の泳ぐ姿が見られるが、いまその姿が見えない。Lから「このあたりがビューポイントだ」と聞かされ納得。明神岳から前穂・奥穂・西穂にかけての雪をかぶった稜線は圧巻だ。みんな思い思いにカメラを構えシャッターを切る。が、私は携帯での撮影。

右手を仰ぐと霞沢岳・三本槍・六百山の雄大な峰々が眼に入ってきた。カラマツなどの原生林の中を歩いていると時折聞こえてくる野鳥のさえずりが心地よく、また、この大自然を貸切にしているような我々以外の人影もない静かな雰囲気をも十分に楽しんだ。

風もないおだやかな春の日射しを浴びながらの散策はこの上もない爽快な気分だった。

田代橋から梓川左岸を梓川の清流と壮大な穂高の峰々を眺めながら河童橋へ。橋のたもとのベンチに数人がくつろいでいた。我々もベンチに腰を下ろし、昼食とした。“至福のひとつ”とはこんな時だと実感。

復路は河童橋を渡って右岸を周遊し、静かな上高地を惜しみながら釜トンネルへ。帰路、安房峠の中腹にある「秘湯・中の湯温泉」に浸かって疲れを癒した。大自然の中にあるこの温泉も最高。大自然の醍醐味と温泉の癒し味わった満足な一日でした。

カンジキ履いて春山にチャレンジ

甲 かほる

今年初めての大雪となった3月8日（土）の朝の雪。これでは、明日の山行は間違いなく悪天候だと気が重かった。ところがどうでしょう。9日（日）は、信じられないくらいの晴天。空は、真っ青。自称、晴れ男、晴れ女の私達は、ルンルン気分で極楽坂ゴンドラに乗り、いっきに1188mの頂上駅へ。雪をかぶった山々が、くっきり見えてきました。尖山、鉢伏山等々。

さっそく、かんじきを履く準備。事前に、履く練習をしてきたのでまあまあ一人でできました。

出発。サクサクと調子よく歩いていくと、目の前にどっしりとした、鍬崎山が見えてきました。山に見とれて歩いていると、急にぼったり倒れびっくり。何が起きたのか初めは分からなかったけど、どうやら、自分の足を自分が踏んでいるのでした。何度も失敗をしながら、奥へ奥へと続くブナ林を満喫して歩きました。

（ふわふわの新雪なので、ころんでも痛くもなく助かりました。）凜とした山々に吸い込まれそう！ 雪粉シャワーをいっぱい浴びて、身も心もあらわれます。



時々、枝にのっていた雪がふってきたり、風に吹かれた雪が舞い上がったりしましたが、だんだん暑くなってきたので、さわやかに感じるくらいでした。

稜線を歩きながら、遠くに富山平野、富山湾、新湊大橋も見えました。瀬戸蔵山の頂上からは、目の前に弥陀ヶ原、大日平、大日岳等が見えます。次の大品山頂上では毛勝三山が目の前に大きく見えました。残念かな、剣岳、立山三山はちょっと雲に隠れていました。

さっそく、早目の昼食をとりました。おむすびのご飯は、冷たいとパラパラになるのでクリーム等の入った菓子パン等が食べやすいと。その通りでした。温かいみそ汁、コーヒーもおいしかったです。

下山は、滑り落ちないように、十分注意しながら歩きました。でも、やはり滑ってしまい、的場さんに止めてもらいました。ありがとうございました。また、尻餅についてサーと

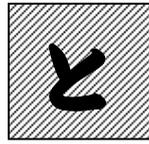
滑り降りておもしろかったときもありましたが、下りる足跡もなくして迷惑をかけ、すみませんでした。

初めてでしたが、青空の下での春山体験は本当によかったです。

帰宅したら、みぞれが降ってきました。次の日は朝から、しんしんと雪が降っています。

追 またまた、たくさん学びました

- ・ かんじきを履いての歩行—かんじきを雪にさすように踏み込んで歩く。
- ・ 足を地面についたら、膝を伸ばす。これが、疲れのない歩き方。
- ・ 歩くと暑くなるので、衣服は簡単に調整できるようにしておく。反対も言える。
- ・ 晴れていても、手袋をはずすと、びっくりするくらいの寒さです。暖を保つ工夫が大切。
- ・ ストックは、雪用の物がある。
- ・ 春山も長靴より防水のかかった登山靴がよい。



林 憲彦

第2回

<今回は GPS の誤差についてのお話です>

登山に必要なのは、現在位置と標高ではないでしょうか。

一般に GPS で表示されるものは、緯度・経度と標高です。位置であらわされる緯度・経度は 2 次元、標高は 3 次元です。従がっていずれも複数個の衛星を受信できなくてははいけません。

☆登山では GPS をこのように使いましょう

GPS に内蔵されている地形図の等高線の波打ち等と紙の地形図の波打ちの良く似たところを見つけ、現在位置を確認します。この際 GPS 以外の高度計や殆ど変更されない送電線等も加味して位置決定すると更に精度が増すと思います。

誤差とは言えませんが注意したい事があります。それは「測地系」です。

数年前までは国土地理院の地形図の「測地系」は「日本測地系」でしたがその後「世界測地系」に変更されています。ですから古い地形図の緯経度と新しい地形図の緯経度に注意が必要です。

日本測地系の経緯度で表されている地点を、世界測地系の経緯度で表わすと、東京付近では、経度が約 - 12 秒、緯度が約 + 12 秒変化します。これを距離に換算すると、北西方向へ約 450m ずれることに相当します。

このことから登山に持って行く地形図は常に新しいものを持っていくことが大切だと思います。(書店などで買わなくても、国土地理院の HP でダウンロードできます)

<次に標高についてお話しします>

カーナビなどは 2 次元の位置が分かり、実際の地図とマッチングすれば、制度の高いものができます。しかし、登山で使用する場合を考えると私たちが使っている 1/25000 の地形図と同じ感覚で使える必要があります。そこで登山用に使用する GPS は 1/25000 の地形図が入っていることが求められます。

話がそれましたが、カーナビと同様衛星からの電波を受信している状態では位置情報はほとんど数 m と思っても差支えないと思います。

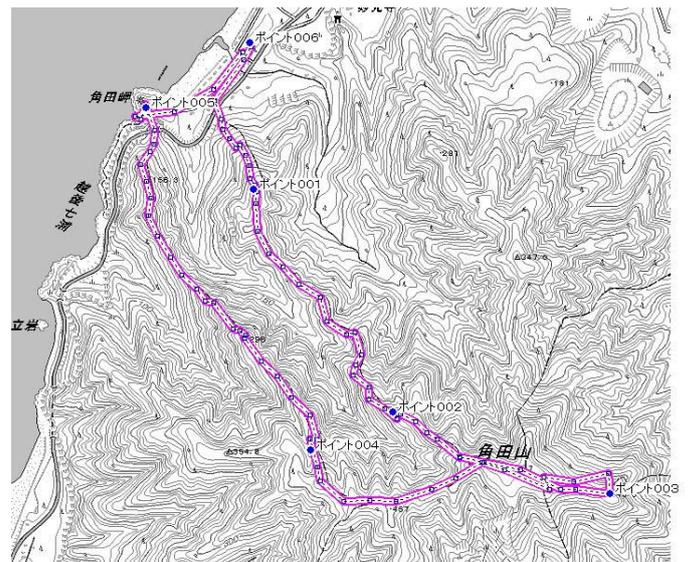
しかし、標高はそうはいきません。

私たちが一般的に使っている腕時計に内蔵されていたり単独の高度計は殆どが圧力センサーで測っています。登山口で「高度計の数値を合わせましょう」と言っているのは自宅で合わせた高度も時間がたつと変化してしまうということです。気象条件によって晴れから雨またはその逆の場合は気圧が変化し、基準となる気圧が変化するため高度も狂ってくるからです。ですから皆さんが使っている高度計は気圧が一定の場合だけその精度が保たれていますので、天候が変わり晴れから雨の場合は高く、雨から晴れの場合は低く表示されます。

しかし GPS に表示される標高も実際より高く表示されます。結論から申しますとポータブル GPS で表示している高度から 40m ほど引けば、2~3m の誤差に収まります。

その理由は「ジオイド高」です。

紙面がなくなりましたので、ジオイド高については次回にお話しします。



4月6日 角田山登山の GPS 軌跡記録

国民の祝日 「山の日」 制定へ

8月11日を新たに「山の日」と定める祝日法の改正案が、4月25日の衆議院本会議で与野党（一部維新の会除く）の賛成多数で可決され、参議院に送られました。

改正案は、「山の日」制定の意義を『山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する』し、2016年から施行するとしています。

山の日制定協議会の制定に向けてのメッセージ

わたしたち山を愛する山岳5団体（日本勤労者山岳連盟・日本山岳協会・日本山岳会・日本山岳ガイド協会・日本ヒマラヤアドベンチャートラスト）は「山の日制定協議会」をつくって、『国民祝日としての「山の日」の制定を提案します。「山の日」は、日々の生活に結びついた山の恵みに感謝するとともに、美しく豊かな自然を守り、育て、次世代に引き継ぐことを国民のすべてに銘記する日です。この運動を通じてわたしたちは、登山者の安全と健康に寄与し、登山の楽しみを広く伝えたいと願います。すでに祝日となっている「海の日」と対をなして、日本に住む全ての人々が、山という自然を見つめなおし、深いかかわりを考える日にしたいともいます。

三島野スポーツクラブ運営役員

任務分担	氏名	住所	TEL
代表	岩井 富雄	射水市宝町 1364-35	57-8180
副代表	小坪 哲彦	射水市中太閤山 5-59	56-3028
副代表	背渡 健治	高岡市五福町 11-45	23-2446
会計担当	荒井 英治	射水市上野 465	56-3058
会報担当	堀井 泰則	高岡市石瀬 748-6	25-2792

〔世話人会〕

賀久 博幸、 甲 厚子
的場 邦夫、 野開 律子、
林 憲彦、 峯 周二
宮本 久子

と左記の方々に構成しています。

〔相談役〕 山田 格
黒川 衛

〔会計監査〕

寺山 秀行・加藤日出子

世話人会は原則毎月の第一・第三月曜日に開催していますが**5月は第二・第四月曜日 12日(月)・26日(月)**です。ご出席をおねがいします。また、会員はどなたでも自由に出席でき「登りたい山」「運営について」などの要望を言うことができます。気軽に遊びに来てください。

尚、開会時間は7時00分～8時30分です。

編集後記

- ◇ 待ち焦がれていたかのように、“春を楽しむ企画”ができました。野に山に出かけ、春の息吹を体感して生きるエネルギー蓄えましょう
- ◇ 4月の企画はいずれも天候に恵まれて「山行報告」はいずれも“弾んで”いました。また、新しい会員や久しぶり参加の会員が花に華をそなえていたようですね。
- ◇ この会報の作成中にニュースで「山の日」制定について聞き、嬉しくて早速、書き載せました。単に休みが増える嬉しさだけでなく、その趣旨の理解も広めてほしいものです。
- ◇ 「登山セミナー」を成功させましょう。まだ日にちがありますが、皆さんの計画日程に予め組み込んでくださることをお願いします。

会報についてのご意見などお寄せください。山の出来事の面白い話も。

堀井まで Eメールアドレス yasu0126@pl.tcnet.ne.jp FAX 25-2792

三島野スポーツクラブのホームページの IRL

<http://sportstoyama.namaste.jp/misimano/misimano.html> です